



和崎ハル氏の肖像

されているのではないが、旅の客は、その座敷に出る芸者を見て判断するものが多いのである。当時は今のようによかましくはなかったもので、各芸者屋は競って顔のきれいな五、六才から、十二、三才のときに貰い受けて、小学校にもろくろく通わせず、もっぱら芸を仕込むのであった。だから芸は東北のどこの都市の芸者にもひけをとらなかつたが、お客からなにをきかれても、ひと通りの話が出来るように仕込まなければならぬ。それに美貌の芸者中には、東京辺の文化人に見込まれて、人妻となるものが多かったので、家庭の人となつても、困らない心得が必要である。ということだから芸者教育の提唱となつたのである。

あつた。愛国婦人会の支部長であるのでこの芸者学校を愛国婦人会秋田支部の仕事の一つとして、毎日曜日に開くことにし、課目は差当り書道、国語、裁縫の三つとし、希望によって英語も教えた。英語と云つても、単語程度であつた。家庭夫人中には、芸者に読み書きを教えて、男に手紙をかくに役立てるつもりだろう。というものもあつたほど、芸者に教育は無用であると思われていた。

けれど、これをはじめするには、集まる場所とこれに適應する先生が必要である幸いに岸本知事夫人は、すこぶる熱心で

成田虎雄、裁縫手芸作法の宮田ヒデ子、一般教養担当の和崎ハルの三氏が飽くまで継続を誓い合い、会場もまた再転、三転しながら、十二年間も続けた。

会員の中には、人妻となつたものも多くあり、幼稚園の保母となり、工学博士夫人となつて姑に孝養をつくしたものの、踊の師匠となつたものなどあり、現在なお芸者に居残つて、後輩の指導に當つてゐるものもある。後に和崎さんが代議士に立つたとき、あの時宇を習つたので、先生の名を書くことが出来た。と手紙を送つたものもあつた。賛否の芸者学校も一応の効果をおさめたと思ふべきである。

婦人の解放を目ざす政治的、経済的、社会的運動は中央において漸く活潑となつた。それが一つ一つ地方にも敏感に反映せずにはやまなかつた。和崎さんは、大正十一年十二月早川カイ子、小泉キクエ氏らと共に、婦人矯風会をつくり、公娼廃止運動を起し、秋田は全国に魁けて、公娼廃止の実をあげた。

婦人矯風会の幾つかの綱領の中に、婦人の貞操を擁護する。というのがあつた。社会的地位を占め、公職にある男子中には、第二号を蓄えているものが甚だ多かつた。矯風会は公娼廃止のみに満足せず女の貞操擁護と本妻を大事にするために第二号廃止を強く叫んだ。単に声高かに

## ウィーン室内合奏団が秋田公演

「モーツァルトの五曲をえらんで演奏」

NHK秋田放送局は、この二月に開局三十周年の記念日を迎えたが、これを機に、この秋には開局する教育テレビジョン局の放送開始を記念し、十月十八日に県記念館で音楽会を催すことになつた。演奏者はウィーン室内合奏団で、秋田公演のレパートリーにはモーツァルトの作品だけ五つ選び「モーツァルトの夕べ」として聴かせることになつてゐる。

ウィーンはワルツの故郷、音楽の都としてあまりにも有名であるが、そこで生まれたウィーン室内合奏団もまた世界一流と折紙をつけられてゐる。一九五九年五月の設立だから、わずか三歳あまりで世界の楽壇にランクされたわけである。それもそのはず、バイオリン7、ビオラ2、チェロ2、コントラバス1という人編成のメンバーの全員が、ウィーン音楽アカデミーの卒業生であり、同時にウィーン・フィル・ハーモニーの演奏者かウィーン国立オペラ劇場の団員という肩書を持っているからである。そして、有名なチェリストでもある同校教授ウィルフリート・ベートヒュル氏の卓越した指揮のもとに、そのすぐれたテクニックとハ